

内頸動脈狭窄症に対する頸動脈ステント留置術における周術期合併症に関する研究

1. 研究の対象

2015年1月から2023年12月に当院で頸動脈狭窄症に対して頸動脈ステント留置術を受けられた方

2. 研究目的・方法

頸動脈ステント留置術における周術期合併症は使用するステント・プロテクションデバイスや周術期抗血小板剤の使用期間で様々であり一定の見解は得られていません。

当院でも様々なデバイスを使用しており、本研究では頸動脈ステント留置術における周術期合併症と術前頸動脈評価、使用デバイスとの関係性を明らかにすることで患者様に合わせたデバイス選択の一助となり、より合併症を軽減させることを目的とします。

研究実施期間は倫理委員会承認日から2024年12月31日までになります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

頸動脈ステント留置術を受けられた患者様の診療録から情報収集を行います。

治療前の狭窄率、プラークの性状や治療後MRIでの脳梗塞の有無、ステント内再狭窄の有無などの情報収集を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮

088-880-2355

高知大学医学部脳神経外科教室 福井 直樹

研究責任者：

高知大学医学部脳神経外科教室 福井 直樹